

## 第4期計画の主な拡充・改善点等に関する進行状況

### 1 担い手の人材確保：地域福祉の担い手の人材確保に向けた掘り起こしや育成

(1) 関連する主な市の事業：別添1

(2) 市社協・校区社協等による取組例

① 「紫原会ふれあい隊」を結成

- ・高齢化率 22.4%の市営住宅でアンケートを実施した結果、庭木の剪定などで困っている世帯があった。町内会会員にふれあい隊への加入を呼び掛けたところ、10名程度の加入があった。困り事の解決を目的に、月1回集会を開き、活動内容等を話し合っている。（支援活動例：植木の剪定等）

② 人材確保が困難な状況

- ・見守りについては連携が図れているが、自治会長交代が課題である。（慣れたところに交代があるため、地域を知ってもらうことが難しい）
- ・過疎地であり、福祉の情報が届きにくく、障害者のいる家族が多い。解決されていない問題が多く、支援を受けていない障害者等の掘り起こしをしても、地域で解決してくれるだけの人材もいない。

③ 人材育成が困難な状況

- ・住民の高齢化と世帯数の減少が深刻。担い手の力を十分に発揮してほしいが、若い世代が育たない。若い世代の考えを高齢世代に受け入れてもらえていないのが要因であるが、解決策が見出せない。

### 2 見守り体制の充実・連携：要支援者に係わる情報把握と共有による支援

(1) 関連する主な市の事業：別添2

(2) 市社協・校区社協等による取組例

① 校区社協における支え合いマップづくりの促進

- ・地区の各自治会に、自治会から委嘱された福祉推進員が一人いるが、自治会長の交代があるため、全体的な見守り活動が定着しない。そこで、地域福祉支援員が支え合いマップの推進を提案している。
- ・校区社会福祉協議会連絡協議会のテーマ別研修会（8月9日：市民福祉プラザ、8月24日：谷山サザンホール）

⇒支え合いマップづくり実践発表

※支え合いマップ：地域内の見守りが必要と思われる、ひとり暮らし高齢者世帯や障害者世帯等と地域での人と人とのつながりを線で結び、地図上に表したもので、地図をもとに地域の課題や解決策を話し合う。

・啓発研修会の実施 19校区／73校区

・支え合いマップづくりの取組 4校区（内1校区は取組予定）

### 3 地域福祉支援員及び地域福祉館等による地域福祉ネットワークの充実

(1) 地域福祉支援員による支援の具体例

- ① 地区の6校区社協が見守り活動の推進会議（構成員：集落長、民生委員、福祉委員、高齢者クラブ、婦人会、要援護者の近隣の人等）をそれぞれのやり方で実施している現状。地域で解決できない課題が手付かずのままであるため、地域福祉支援員が各校区へ出向き、情報の収集と課題把握を行

い、支部・支所・長寿あんしん相談センターとの連携を図っている。

- ② 地域福祉支援員が校区社協における話し合いの進め方を支援したことにより、校区が抱えている問題を再確認するようになった。その中で、買い物支援や交通手段の問題、まちづくり協議会との連携の図り方、子育てサロンの参加者が少ない等の問題が上がっている。地域福祉支援員は、引き続き問題を解決できるように支援を行っている。

(2) 地域福祉館長等による支援の具体例

- ① 福祉館サロンに参加している人の声かけがきっかけで、障害のある方が参加するようになった。積極的に活動して前向きに生活していきたいという気持ちに参加者は感心していた。地域福祉館の職員は「誰でも、いつでも参加出来る場所づくり」を地域の方々とすすめている。

#### 4 地域コミュニティ協議会等との連携

(1) 地域コミュニティ協議会の設立状況

- |               |   |            |
|---------------|---|------------|
| ・ 24年度：3校区    | } | 合計<br>75校区 |
| ・ 27年度：26校区   |   |            |
| ・ 28年度：29校区   |   |            |
| ・ 29年度予定：17校区 |   |            |

(2) 校区社会福祉協議会連絡協議会のテーマ別研修会（8月9日：市民福祉プラザ、8月24日：谷山サザンホール）

- ・ 講話「校区社協とコミュニティ協議会の関わりについて」（八幡校区コミュニティ協議会・和田一雄会長）

(3) 地域コミュニティ協議会等との連携の具体例

- ① 町内会として「つどいの広場」が設置された。よかよか体操が中心のため、茶話会のようなイメージが低減され、男性の参加者が増えた。
- ② 地域コミュニティ協議会会長が、校区内のお達者クラブの相互の情報交換がないことに気付いたため、それぞれのお達者クラブに対して交流会を試みてはどうかと提案している。